

令和2年度大船渡市I L C推進協議会総会 議事録

1 開催の日時及び場所

(1) 日時 令和2年8月20日(木) 午後3時から午後3時20分

(2) 場所 大船渡市民文化会館(リアスホール) マルチスペース

2 会員数 31名

3 出席者

(1) 会員 22名

岩手県飲食業生活衛生同業組合大船渡支部 副支部長 志田繕隆

(一社)岩手県建設業協会大船渡支部 支部長 紀室裕哉

(一社)岩手県建築士会気仙支部 幹事長 鈴木昭司

岩手県トラック協会大船渡支部 支部長 新沼学

岩手県立大船渡高等学校 校長 吉田祥

大船渡金融団 当番幹事 気仙沼信用金庫大船渡支店長 高橋弘則

大船渡国際港湾ターミナル協同組合 理事長 宮澤信平

大船渡五葉ライオンズクラブ 中澤武義

大船渡市各種女性団体連絡協議会 会長 佐々木好子

(一社)大船渡市観光物産協会 会長 齊藤俊明

大船渡市議会 議長 淵上清

大船渡市社会福祉協議会 常務理事 金野敏夫

大船渡市小・中学校長会 会長 千田晃一

大船渡市農業協同組合 総務部次長 山田伸

大船渡商工会議所 副会頭 細川廣行

大船渡西ロータリークラブ 会長 高木久子

大船渡ライオンズクラブ 会長 菊地泰二

大船渡ロータリークラブ 会長 新沼英明

気仙地方森林組合 代表理事組合長 爪木澤光毅

岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター 所長 米澤勉(※オブザーバー)

大船渡市 市長 戸田公明

大船渡市教育委員会 教育長 小松伸也

(2) 事務局 6名

I L C推進室長 武田英和 I L C推進室次長 伊藤喜久雄 商工港湾部長 近江学

企業立地港湾課長 山岸健悦郎 都市整備部長 阿部博基 建設課長 金野尚一

4 議事の経過

午後3時にI L C推進室長の進行で開会した。

はじめに、本協議会会長である戸田市長から「昨年3月7日に政府が国際リニアコライダー・I L C計画について正式に関心を示して以降、I L C計画に関連して様々な動きがあった。昨年7月には、日仏、日独による政府間ディスカッショングループが設置され、11月には日英のディスカッショングループも設置された。本年1月には、日本学術会議マスタープランが公表され、I L C計

画が学術大型研究計画に選定された。また、本年6月には、ヨーロッパにおいて、欧州素粒子物理戦略が公表され、I L C計画に対し、ヨーロッパが協働する旨が明記されたところである。さらに、今月2日には、I L C準備研究所設立のため、国際推進チームが設置され、これに併せてI L C受入準備に係る活動を担ってきた東北I L C準備室の後継として、I L C建設候補地周辺自治体や国内の関係機関等が協働した「東北I L C事業推進センター」が設立されたところである。このようなことから、I L C計画を取り巻く情勢は、着実に前進しているものと捉えており、本協議会としても、政府の誘致判断を強力に後押しするため、より一層の機運の盛り上がりを図ることはもとより、受け入れ準備を適切に整えることなどが必要と考えている。I L Cを誘致・実現するためには、皆様方のお力添えが何よりも重要であることから、引き続き、ご支援、ご協力をお願いしたい。」とあいさつがあった。

ここからは、大船渡市I L C推進協議会規約第6条第1項の規定により、戸田会長が議長となり進行した。

○議案第1号 令和元年度事業報告について

議長が事務局に議案第1号の説明を求めた。

事務局の大船渡市I L C推進室次長が、総会資料に基づき議案第1号について説明した。

事務局説明後、議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第1号は承認された。

○議案第2号 令和2年度事業計画（案）について

議長が事務局に議案第2号の説明を求めた。

事務局の大船渡市I L C推進室次長が、総会資料に基づき議案第2号について説明した。

事務局説明後、議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第2号は承認された。

すべての議事が終了し、進行が会長から事務局に返された。

次に、次第「4 その他」について、事務局からI L C普及啓発ポケットティッシュの配布希望について案内があった。

その後、会員に発言を求めたが、会員からの発言は特になく午後3時20分に総会を閉会した。

なお、総会終了後、岩手県I L C推進局 高橋勝重氏より「I L Cの最新動向について」と題し、講演をいただいた。

以上